

インクルーシブの窓

令和7年7月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課



特別支援教育コーディネーター、活躍中です！



1学期の間に、各市町村では、小中学校の特別支援教育コーディネーターが参集し、研修や連絡会議が行われました。参加された先生方は多くの学びを得ようと、熱心にメモを取りながら講師の話を聞いたり、演習や情報交換に積極的に参加したりしていました。

<主なテーマ>

- ・地域の特性を生かした特別支援教育体制づくり
- ・校内支援体制の構築のポイント
- ・特別支援学校のセンター的機能の活用を含む関係機関との連携
- ・自立活動や通常の学級における個への支援の充実
- ・基礎的環境整備としての教育のユニバーサルデザイン化の取組



多様化する子供たちを誰一人取り残さないために、全ての市町村において特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育が進められています。研修や連絡会議は、2学期以降も予定されています。

さて、県では、今年度も特別支援教育コーディネーターリーダー研修会を開催しています。受講者は、県内各市町村から50名、特別支援学校から14名の先生方です。

第1回（5月20日、富山県総合教育センターにて）では、始めに、新潟大学名誉教授・新潟市スクールカウンセラーの長澤正樹先生からオンラインによる講演『特別支援教育コーディネーターの役割 2025 コーディネーターとしてできること コンサルテーションを中心に』がありました。受講者は、長澤先生が開発された『特別支援教育コーディネーターチェックリスト ver.2』に基づく分かりやすいお話に熱心に耳を傾けたり、質問をしたりしていました。



事後のアンケートに寄せられた「特別支援教育コーディネーターとして取り組みたいこと（今年度の自身のテーマ）」からは、「子供や先生方との対話を大切にしたい」「教職員間のコミュニケーションが円滑になるようにしたい」「よりよい支援体制の構築を目指したい」「地域の学校や専門機関との適切な連携の在り方を考えたい」という意欲的な取組の声が多くありました。

長澤先生の講演や県からの情報提供などの内容は、各市町村での研修や連絡会等で広めています。